

## 第4回円空大賞円空賞

### 伊藤慶二（いとうけいじ）

#### プロフィール

- 1935年：岐阜県土岐市に生まれる  
1958年：武蔵野美術学校卒業  
1960年：岐阜県陶磁器試験場に入り、日根野作三に師事  
1978年：世界クラフト会議クラフトコンペにて入賞  
1981年：パドヴァ国際現代美術展、ファエンツァ国際陶芸展にて入賞（イタリア）  
1983年：BRAUNSTEINGALLERY（サンフランシスコ）個展、朝日現代クラフト展招待出品  
1994年：滋賀県立陶芸の森にて招聘講師を務める  
1995年：ファエンツァ国際陶芸展受賞者展（土岐）、Hetjens美術館（デュッセルドルフ）  
GALLERYBOWING（ハノーバー）、美術装飾美術館（ローザンヌ）にて個展  
1998年：ハワイ大学企画 EASTWESTceramicscollaboration 招待  
「伊藤慶二展 1965-1998」ギャラリーももぐさ（多治見）個展  
2000年：「国際陶芸アカデミー展」（ドイツ）、「うつわをみる」（東京国立近代美術館工芸館）  
2003年：パラミタ・ミュージアム常設（三重）、瀬戸市美術館個展  
2004年：MINOCERAMICSNOW2004（岐阜県現代陶芸美術館）  
2006年：岐阜県芸術文化顕彰受賞



#### 選評：選考委員長梅原猛

伊藤氏の活躍はめざましい。氏の作品の幅は甚だ広く、その作品も多種多様である。しかしそこに一貫した原理があるように思われる。日常性の中に非日常性を思わせる器物をおくことによってある種の不条理を醸し出す。それはまことにおもしろい。



「人」（2005年制作）



「HIROSHIMA-土」（2002年制作）



「HIROSHIMA-証」（2003年制作）



「HIROSHIMA-核」（2005年制作）



「HIROSHIMA-いのり」（2005年制作）